

私立高等学校新入生端末整備費助成事業 交付申請書様式記入例について

〔 申請期間② 転入生分申請 〕

○各書類の記入例において、囲みの色は下記を表しています。

 . . . 入力または押印する欄

 . . . 使用しない又は注記欄

 . . . 総括表へ転記する欄

- 申請期間①の申請に**含まれない**転入生等の申請（基本分、加算分の両方）についての記入例です。
- 「申請期間①申請者の加算分」と同時に申請する場合は、交付申請2-3または2-4について、「申請期間①申請者の加算分」と、「申請期間②転入生分」を別々に作成したうえで、交付申請1（総括表）に合算額を記入してください。（申請期間②**加算分**の記入例を参照）

交付申請1 (総括表)

実印押印

実印
捺印

申請日を入力。

令和 ● 年 1 月 ● 日

公益財団法人東京都私学財団理事長 殿

法人番号(設置者番号)

○ ○ ○ ○ ○ ○

法人番号(5桁)を入力。

申請期間①	基本分	
申請期間②	基本分	加算分
	○	○

該当する申請に
○を入力。

法人の情報を。

設置者所在地	〒○○○-○○○ 東京都○○区○○1-1-1
設置者名	学校法人私学財団学園
理事長名	財団 太郎
事務担当者名	私学 花子
電話番号	(事務担当者連絡先) 03-○○○○-○○○○
	(緊急連絡先) 090-○○○○-○○○○
担当者メールアドレス	○○○@○○○.ne.jp

実印押印

実印

※登録印鑑(実印)を押印

私立高等学校新入生端末整備費助成金交付申請書

公益財団法人東京都私学財団私立高等学校端末整備費助成金交付要綱第4条の規定に基づき、下記のとおり助成金の交付申請をします。

記

1 助成金交付申請額

金額	千	百	十	万	千	百	十	円
			2	8	9	0	0	0

2学校別交付申請額の合計を入力。

※十円未満切り捨て

交付申請2-1及び2-2については申請期間①の記入例を参照してください。

2 学校別交付申請額

①交付申請2-1 (学校が一括購入し、生徒に貸与した場合)

学校番号	学校名	交付申請額
		円
		円
合計		0 円

②交付申請2-2 (学校が一括リース調達し、生徒に貸与した場合)

学校番号	学校名	交付申請額
		円
		円
合計		

③交付申請2-3 (生徒が各自で購入した場合)

学校番号	学校名	交付申請額	
		基本分	加算分
○ ○ ○ ○ □ □ □ □	□ □ 高等学校	104,000 円	30,000 円
		円	円
合計		104,000 円	30,000 円

交付申請2-3から転記。

交付申請2-3から転記。
※申請期間①申請者の加算分がある場合は合算額となります。

学校番号および学校名を入力。

④交付申請2-4 (生徒が学校経由【指定業者含む】)

学校番号	学校名	交付申請額	
		基本分	加算分
○ ○ ○ ○ ◆ ◆ ◆ ◆	◆ ◆ 高等学校	134,000 円	45,000 円
		円	円
合計		134,000 円	45,000 円

交付申請2-4から転記。

交付申請2-4から転記。
※申請期間①申請者の加算分がある場合は合算額となります。

学校番号および学校名を入力。

総括表 附票

学校ごとに作成してください。

学校名、学校番号（7桁）を入力。

学校名 高等学校
 学校番号 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

ア. 新入生実員及び助成対象生徒数の状況
【申請期間①】

申請期間①の使用欄。
申請期間②で変更する必要はありません。

※適宜、行を追加して作成してください

申請時点の学年		事象発生時期	人数	端末利用開始時点からの 在学期間残り（月単位） ※保守等申請の場合、注意
高校1年生	新入生	令和6年4月	300	
		令和6年6月	1	34か月
	転入生	令和6年9月	5	31か月
		令和6年8月	1	0か月
高校2,3年生	転入生 ※留学帰国者含む	令和6年1月	1	27か月 ※1年生の1月帰国
		令和6年1月	1	15か月 ※2年生の1月転入
		令和6年4月	2	24か月 ※2年生の4月転入
		令和6年4月	2	24か月 ※2年生の4月転入
合計			313	
（合計） - （退学者数） ※重複カウントを除くため			312	← 助成対象生徒数 （申請可能上限生徒数）

【申請期間②】
申請期間①以降の変動状況

申請期間①以降、申請期間②までの期間で、
該当する生徒がいる場合、入力。

※適宜、行を追加して作成してください

申請時点の学年		事象発生時期	人数	端末利用開始時点からの 在学期間残り（月単位） ※保守等申請の場合、注意
高校1年生	転入生	令和6年11月	1	29か月
		令和6年12月	2	0か月
	退学者等	令和6年11月	1	12か月 ※2年生の11月転入
合計			4	
（合計） - （退学者数） ※重複カウントを除くため			2	
（合計） - （退学者数） + （申請期間①の助成対象生徒数）			314	← 助成対象生徒数 （申請可能上限生徒数）

本欄は、申請対象となる購入数または
人数の上限です。
交付申請2-1～2-4における購入数等と
必ずしも一致するものではありません。

交付申請 2-3 (生徒が各自で購入した場合)



学校名

学校番号

学校名、学校番号(7桁)を入力。

3 学校別交付申請額内訳書

申請期間は②です。

対応する申請期間に〇を入力。

本様式で申請する全ての生徒の各種端末機器について、1人1台端末の教育環境を実現するために必要であることを、設置者として認めます。

申請期間②基本分	<input type="radio"/>
申請期間②加算分	<input type="radio"/>

(単位：円)

学校が実施する、生徒(保護者)の端末購入等費用への負担軽減の金額

生徒	生徒別1台当たり端末機器等購入額(税込)	基本分			加算分			軽減額合計 (基本分+加算分)
		1台当たり助成対象経費限度額(A)	控除額▲30,000円(B)	軽減額(A-B)	①所得が一定基準以下の世帯 30,000円	②多子世帯 15,000円	①・②いずれも該当無	
404	128,000	100,000	▲ 30,000	70,000			○	70,000
405	64,800	64,800	▲ 30,000	34,800			○	64,800
			0	0				0
			0	0				0
			0	0				0
			0	0				0
			0	0				0
			0	0				0
合計2人	192,800	164,800	▲ 60,000	104,800	合計1人 30,000	合計0人 0	合計1人	134,800
		助成金交付申請額		104,000	30,000			134,000

生徒の個人情報を入力しないようお願いします。

各生徒ごとの対象経費を入力。

セット金額が3万円以下の場合、対象外と表示されます。

各生徒ごとの該当項目を入力。

使用するエクセルのシートは、「2-3②(生徒各自で購入)」です。

4 助成金交付申請に係る確認事項(確認後、口にレ点を付してください。)

内容を確認し、該当するボックスにチェックを入力。

について設置者として全て確認したことを認めます。

総括表へ転記。
※申請額は千円未満切捨

- 本様式に記載した全ての端末機器は、本校における生徒の教育及び学習に使用しており、その目的を達成するために必要な機能を有しているものであること。
- 助成申請の対象とする全ての新入生について、漏れなく記載したものであること。
- 助成申請の対象とする全ての新入生(又はその保護者)から、端末機器購入額が確認できる領収書等を漏れなく徴取し、かつ、その金額を誤りなく本様式に記載したものであること。
- 助成対象範囲(①パソコン・タブレット等各種端末機器、②キーボード・マウス等の端末機器に係る各種周辺機器、③端末機器購入時に設定した、使用する生徒の在学期間中の保守・保証料、④その他特に必要と認められる経費)以外の品目について、上記の端末機器購入額に含まれていないこと。
- ①所得が一定基準以下の世帯に係る学校の追加負担軽減額に関し、該当する全ての新入生について、課税証明書等の公的な書類に基づき、その世帯所得状況を適切に確認したこと。また、当該生徒に対して、30,000円の負担軽減を確実に行ったこと。
- ②多子世帯に係る学校の追加負担軽減額に関し、該当する全ての新入生について、住民票等の公的な書類に基づき、その世帯状況を適切に確認したこと。また、当該生徒に対して、15,000円の負担軽減を確実に行ったこと。
- 本申請に際し、各新入生より徴取した個人情報等を含む重要な書類等について、個人情報保護等に関する各学校の規程に基づき、適切に管理・保管していること。

交付申請 2-4 (生徒が学校経由で購入した場合)



学校名

学校番号

3 学 申請期間は②です。 **記入訳表**

対応する申請期間に○を入力。

実印押印

学校名、学校番号(7桁)を入力。

本様式で申請する全ての学習用各種端末機器について、1人1台端末の教育環境を実現するために必要であることを、設置者として認めます。

申請期間②基本分

申請期間②加算分

(単位：円)

学校が実施する、生徒(保護者)の端末購入等費用への負担軽減の金額

機器構成	購入項目	1台あたり端末機器等購入額(税込)	基本分			加算分		軽減額合計 (基本分+加算分)	
			1台あたり助成対象経費限度額(A)	控除額▲30,000円(B)	購入数(C)	軽減額(A-B)×C	①所得が一定基準以下の世帯 30,000円		②多子世帯 15,000円
①	タブレット(128G)	59,800		▲30,000	2	134,800	合計1人 30,000	合計1人 15,000	179,800
	マウス	1,000							
	キーボード・型カバー	14,800							
	タッチペン	12,800							
	保証料	9,000							
計	97,400	97,400							
②	対象物品等および1台当たりの金額を入力。 ※物品名は、機種名等がわかるように入力してください。			▲30,000			合計0人 0	合計0人 0	0
	計	0	0						
③				▲30,000			合計0人 0	合計0人 0	0
	計	0	0						
			合計		2	134,800	合計1人 30,000	合計1人 15,000	179,800
			助成金交付申請額			134,000		45,000	179,000

該当するセットの購入数を入力。

それぞれの該当人数を入力。

使用するエクセルのシートは、「2-4②(生徒が学校経由で購入)」です。

内容を確認し、該当するボックスにチェックを入力。

総括表へ転記。
※申請額は千円未満切捨

4 助成金交付申請に係る確認事項 (確認後、口にレ点を付してください。)

申請に当たり、下記事項について設置者として全て確認したことを認めます。

- レ 本様式に記載した全ての端末機器は、本校における生徒の教育及び学習に使用しており、その目的を達成するために必要な機能を有しているものであること。
- レ 助成申請の対象とする全ての新生生について、漏れなく記載したものであること。
- レ 学校が依頼した事業者から、端末機器購入額が確認できる契約書等を漏れなく徴取し、かつ、その金額を誤りなく本様式に記載したものであること。
- レ 助成対象範囲 (①パソコン・タブレット等各種端末機器、②キーボード・マウス等の端末機器に係る各種周辺機器、③端末機器購入時に設定した、使用する生徒の在学期間中の保守・保証料、④その他特に必要と認められる経費) **以外の品目**について、上記の端末機器購入額に含まれていないこと。
- レ ①所得が一定基準以下の世帯に係る学校の追加負担軽減額に関し、該当する全ての新生生について、課税証明書等の公的な書類に基づき、その世帯所得状況を適切に確認したこと。
また、当該生徒に対して、30,000円の負担軽減を確実に行ったこと。
- レ ②多子世帯に係る学校の追加負担軽減額に関し、該当する全ての新生生について、住民票等の公的な書類に基づき、その世帯状況を適切に確認したこと。また、当該生徒に対して、15,000円の負担軽減を確実に行ったこと。
- レ 本申請に際し、各生徒より徴取した個人情報を含む重要な書類等について、個人情報保護等に関する各学校の規程に基づき、適切に管理・保管していること。